

H28自己評価

(対象77名 回答者 34名)

- 1 所属する部や学年会、委員会の中で連携をとり活性化を図ることができた(中心的に参加した委員会を想定)
- 2 職員間で報告、連絡、相談等により情報の共有化を図り学校力向上を図った。
- 3 部活動等への参加を促し学校に対する帰属意識の醸成を行った。
- 4 生徒を中心に据えた分かる授業を展開するため、ワークシートや教材教具等を工夫して生徒の思考を助ける授業を提供している
- 5 生徒の理解度に応じて指導過程を修正している
- 6 机間巡視等で個別指導を行っている
- 7 生徒の質問や意見を大切に授業を進めている
- 8 多様な学習活動を取入れ、ポイントを与える工夫をしている
- 9 発達段階に即したわかりやすい言葉を使っている
- 10 学習の遅れている生徒や意欲の低い生徒に課題を与えて補っている
- 11 まんべんなく指名し、発問等で生徒の理解度をチェックしている
- 12 資格取得にチャレンジする生徒の増加に向け、意識を高める工夫を行っている
- 13 単位を修得するための手立てや評価方法についてきめ細かい指導を行っている
- 14 勤怠状況悪い生徒に対して声かけ指導や個別指導を行っている
- 15 単位未修得者に対して個別の指導・助言を与えている
- 16 講習の充実を図り、目標とする合格者を出した
- 17 保護者・地域・各機関との連携を図り生徒の規範意識とマナーの育成に努めた。
- 18 HRや授業時間等で全体指導および個別の声かけ指導をしている
- 19 全体集会時や停学指導時に規範意識とマナー指導の充実を図っている
- 20 ゴミ分別など、清掃指導を行い校内美化に努めた
- 21 授業や実習の中で清掃指導を行い校内美化に努めた
- 22 学校によるいじめ指導方針・計画が明確にして早期発見・解決に向けて組織的に対応する体制が整備されている。
- 23 PTA(保護者)との連携をとり学校(クラス)の活性化を図ることができた
- 24 体験入学等において本校の特徴をアピールするとともに中学生にわかりやすい説明を行うことができた
- 25 わかりやすいWebページ作成を行い、定期的もしくは適時に情報を発信している
- 26 横断幕・マスコミ等の活用により学校広報の充実を図っている

